

平成30年度

公社会計の決算に係る報告書

- 1 貸借対照表
- 2 正味財産増減計算書
- 3 財産目録
- 4 監査報告書

II 平成30年度 決算報告書

貸借対照表

平成31年3月31日現在

科目	当年度
I 資産の部	
1. 流動資産	
流動資産合計	165,645,192
2. 固定資産	
(1) 基本財産	
基本財産引当預金	50,000,000
基本財産合計	50,000,000
(2) その他固定資産	
その他固定資産合計	378,177
固定資産合計	50,378,177
資産合計	216,023,369
II 負債の部	
1. 流動負債	
流動負債合計	73,110,149
2. 固定負債	
固定負債合計	10,880
負債合計	73,121,029
III 正味財産の部	
1. 指定正味財産	
指定正味財産合計	50,000,000
2. 一般正味財産	
一般正味財産合計	92,902,340
正味財産合計	142,902,340
負債及び正味財産合計	216,023,369

正味財産増減計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

科目	当年度
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
経常収益計	412,998,716
(2) 経常費用	
経常費用計	415,240,364
評価損益等調整前	
当期経常増減額	△2,241,648
評価損益等計	0
当期経常増減額	△2,241,648
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	
経常外収益計	240,000
(2) 経常外費用	
経常外費用計	50,575
当期経常外増減額	189,425
当期一般正味財産増減額	△2,052,223
一般正味財産期首残高	94,954,563
一般正味財産期末残高	92,902,340
II 指定正味財産増減の部	
当期指定正味財産増減額	0
指定正味財産期首残高	50,000,000
指定正味財産期末残高	50,000,000
III 正味財産期末残高	142,902,340

3 財産目録

財産目録
平成31年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額
(流動資産)	
流動資産合計	165,645,192
(固定資産)	
基本財産	50,000,000
その他の固定資産	378,177
固定資産合計	50,378,177
資産合計	216,023,369
(流動負債)	
流動負債合計	73,110,149
(固定負債)	
固定負債合計	10,880
負債合計	73,121,029
正味財産	142,902,340

財務諸表に対する注記

1 適用する会計基準

財務諸表は、平成20年4月11日内閣府公益認定等委員会制定の「公益法人会計基準」に準拠して作成している。

2 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

- ・ 器具備品(文化事業・法人会計)は、定率法によっている。
ただし、平成19年3月31日以前取得の器具備品は、定額法によっている。
- ・ ソフトウェア(法人会計)は定額法によっている。

(2) 引当金の計上基準

- ・ 賞与引当金
職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。
- ・ 退職給付引当金
職員の退職給付に備えるため、退職給付引当金を計上している。なお、計上しているのは青森市が退職給付債務を負担する対象となっている職員以外の平成25年度以降の採用職員についてである。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	50,000,000	—	—	50,000,000
小 計	50,000,000	—	—	50,000,000
特定資産	0	—	—	0
小 計	0	—	—	0
合 計	50,000,000	—	—	50,000,000

4 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
定期預金	50,000,000	50,000,000	—	—
小 計	50,000,000	50,000,000	—	—
特定資産	0	0	—	—
小 計	0	0	—	—
合 計	50,000,000	50,000,000	—	—

5 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車両運搬具 公用車(法人会計)	366,120	366,119	1
器具備品 耐火金庫等(施設運営)	521,110	208,093	313,017
〃 パソコン等(文化事業)	1,205,185	1,140,032	65,153
〃 パソコン等(法人会計)	976,500	976,494	6
〃 会計ソフト(法人会計)	1,013,425	1,013,425	0
合 計	4,082,340	3,704,163	378,177

6 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期 増加額	当期 減少額	当期末 残高	貸借対照表上 の記載区分
文化スポーツ 振興事業補助金	青森市	0	60,388,377	60,388,377	0	—
ファミリーウオー ク協賛金	日本トーター(株) 等	0	320,000	320,000	0	—
夫婦漫才青森公演 協賛金	青森県民共済	0	700,000	700,000	0	—

平成30年度 監査報告書

一般財団法人青森市文化スポーツ振興公社
理事長 佐々木 隆 様

私たち監事は、当法人の平成30年4月1日から平成31年3月31日までの平成30年度の理事の職務執行について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第99条第1項（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第197条において準用する同法第99条第1項）及び一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第36条及び第45条（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第64条において準用する同規則第36条及び第45条）の規定に基づき、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告します。

記

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務執行について報告を受け、重要な決裁書類等閲覧し、当公社の主たる事務所において業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法によって、当該事業年度に係る事業報告書及びその附属明細書を監査しました。

さらに、会計帳簿及びこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等について監査しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果


- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等は、当法人の財産及び損益の状況を全て重要な点において適正に表示しているものと認めます。

令和 元年5月31日

一般財団法人青森市文化スポーツ振興公社

監事 木村 清明 

監事 西谷 俊広 